

# 埼玉県農業水利審議会 現地調査の概要 (平成27年10月16日)

## ① 長楽用水路地区 (川島町)



安定的かつ継続的な農業用水の確保及び保全管理に取り組んでいる「長楽用水路」の現地調査を行い、地域関係者から維持管理や地域用水としての活用状況等を伺うとともに、地域住民が整備計画策定段階から参画したことや自主施工により一部整備を行ったこと等についての説明を受けた。

## ② 入間川地区 寺山堰 (川越市)



農業用水の安定的な取水に必要な堰を維持し、現在生じている魚類の遡上障害を解消するために魚道を設置した「寺山堰」の現地調査を行い、魚道を施工した東松山農林振興センターから、取水と魚類遡上を両立するため、計画策定段階から専門家等の多様な関係者に参画いただいて設計を行い、入間川に6つの工夫を凝らした魚道を整備したことや、寺山堰の特徴等について説明を受けた。

## ③ 伊佐沼地区 (川越市)



生活雑排水が混入し水質が悪化した時期があったが、土地改良区や地域住民が協力して水質の改善や生態系の復元に取り組み、農業用水とハス田等の美しい景観を守っている「伊佐沼」の現地調査を行い、地域関係者から環境復活のための様々な取り組みや維持管理の状況等について説明を受けた。

## ④ 古川排水路ほか地区 笹原排水路 (川越市)



排水路の護岸整備が行われていなかったことにより荒れた環境となっていた区間において、整備事業をきっかけとして適正な維持管理が行われるようになった「笹原排水路」の現地調査を行い、地域関係者から未整備であった頃の状況や整備計画への参画状況、維持管理の取り組み状況等について説明を受けた。